



第14号

平成21年(2009年)12月25日(金)発行
発行元:みやげじま『風の家』
発行責任者:坂上 幸一郎
東京都三宅島三宅村阿古532-1
(社団法人 日本建築学会三宅島研修所発付)
電話:04994-5-1470 FAX:04994-5-1471
E-mail: miyake_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやげじま『風の家』でくりかえされる日常の中、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。

多くの人が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。

ただそれだけを見つめて…

今年もいよいよ年の瀬を迎えました。

今年一年、みやげじま『風の家』の活動にご理解またご協力をいただきありがとうございます。ございました。

来年は、平成一二年の噴火災害から十年、そして悲願の「帰島」を果たしてからは五年という節目のときを迎えます。

みやげじま『風の家』の活動も五年目を迎えることが出来ました。これもご理解ご協力いただいた、たくさんの方々の皆様からお力を賜ることができてこそと改めて心から感謝申し上げます。

新年からは、みやげじま『風の家』も新しい運営へと移行しながら、引き続き多くの方々と手をつなぎながら「人にやさしい家」として活動を続けてまいります。

新年もどうぞ引き続き、よろしくお願い申し上げます。

新しい年が、すべての皆様にとって、素晴らしい一年になりますように心から願っています。

みやげじま『風の家』

(*^~^*) お元気でしたか！

5回目となった「年末おそうじボランティア」。12月5日、12日と二週に渡り51名のボランティアさんが訪れてお宅の方との交流をもちながら大掃除のお手伝いをさせていただきました。

参加された方々からは、「帰島のときに目にした島の様子と大きく変わって、くらしの息吹が感じられて胸がいっぱいになった」と話される方もあり、改めて多くの方々と共に歩んできた三宅島だということを感じました。

短い時間でしたが、ボランティアとお宅の方、またボランティア同士のやさしい交流に包まれた時間が作られました。

このプログラムの実施にあたっては、参加者のご家族や職場の方々また島内においても長谷川自動車修理工場さん、三宅島社会福祉協議会など多くの皆様にご協力をいただきました。

本当にありがとうございました。



(^_^)/ にぎやかに『よいしょ!よいしょ!』

毎年恒例の「交流もちつき会」が12月20日に開催されました。開催に当たり、前日の準備から、たくさんの皆さんや地元自治会にご協力いただきました。そして当日の運営にも本当にたくさんの皆さんにご協力いただきました。

当日は、冬晴れに恵まれた空の下、日ごろ『風の家』を利用されている方だけではなく、地域の方また様々な形で『風の家』にご協力いただいている方々、東京からは関係団体役員も駆けつけ総勢80名を超える方たちの手によってにぎやかに開催されました。



今回の『交流もちつき会』は、新年からの新しい運営への区切りを迎える機会でもありました。

これまでの『風の家』で育まれたもの・・・それは「人が人に対してやさしくありつづけること」の大切さでした。

『風の家』は、これまでの活動の中で育まれたものを礎に、新年より新しい出発をし活動を続けてまいります。

来場された方々の中では、これまでの様々な思い出とともに、新しい年への希望とこれからの『風の家』への活動に「新年」を迎えましょうという希望に包まれた会となりました。

(^_^)/ 2月5日(金)より、新しい『風の家』が歩き始めます

新しい年から、新しい『風の家』が始まります。

来年の2月は「帰島」から5年目を迎える節目の時。

『風の家』は2月5日(金)を新しいスタートして活動を始めます。

これまで育まれた『やさしく・なかよく』人と人とがつながっていくことを大切に、引き続き活動を続けます。

お近くの方や、お近くにお越しの際には、どうぞお気軽にお立寄りください。

□ 開設曜日:毎週 火・金曜日

(祝・祭日と重なった場合は休館。

また、年末・年始はこの限りではありません)

□ 開設時間:午前9時から午後3時

□ 電話:04994-5-1470

□ お昼をはさんで来られる方は、昼食をご用意ください

三宅島支援センター：坂上幸一郎



『風の家』では、「ボランティア」としてご一緒にいただける方を、引き続きお待ちしております。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲良く」です。

目には決して見えないものですが、きっと人と人との良い出会いは、「くらし」の中でとても大切なものだから・・・

ぜひ、お気軽にお声かけください。